

第28回全国クラブチームサッカー選手権千葉大会 新型コロナウイルス感染症対策

1. 事前の対応

チームへの連絡事項

(1) 以下の事項に該当する場合の自主的な参加の見合わせ

- ① 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ② 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
- ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航
又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(2) 参加者全員のマスク着用

(3) 消毒対策キット（アルコール消毒液・手袋・ゴミ袋）準備

(4) CFA・1種委員会及び会場施設が示す注意事項の遵守

(5) 参加者の健康チェック（新型コロナウイルスチェックリスト作成） ※保存期間（少なくとも1ヶ月）

- ① 会場名・参加日時・チーム名・代表者名（当日）・代表連絡先
- ② 当日の体温
- ③ 参加者の氏名（選手18名・役員6名）
- ④ 参加者の健康状態確認
 - 過去1週間の風邪症状（発熱・咳・咽頭痛・味覚異常など）がないこと
 - 過去2週間の同居家族、会社の同僚等身近な知人に感染症がないこと
 - 過去2週間に海外渡航歴が無い又は渡航者や海外居住者との濃厚接触がないこと

(6) 新型コロナウイルス感染症を発症した場合の速やかな報告

- ① マスクを着用していたか、他人との接触状況の記憶（濃厚接触者特定に役立ちます）

2. 当日の対応

(1) 施設利用

- ① 施設管理者および会場責任者（運営担当者）の指示に従う
- ② 利用はチーム（選手18名・役員6名）と会場責任者（運営担当者）のみ無観客とし、
サポーター・メディア等の対応は行わない。（社会状況が変わった場合変更あり）
- ③ 施設ではそれぞれ2mの間隔を保ち、密を避けハイタッチ、抱擁、肩を組むなどの行為は控える
- ④ チームベンチの消毒を行う（マスクや手袋を必ず着用してビニール袋に入れて密閉して縛り持ち帰り）
- ⑤ 以下利用可能な場合
更衣室・ロッカールーム・シャワー室は、マスクを着用し会話を最小限に留め滞在時間を
短くし交代で密を避ける

(2) マネージャーズミーティングにおける確認・伝達事項

- 両チーム選手・役員及び審判団並びに運営担当の健康状態確認を行う
運営担当者は、運営担当及び審判団健康チェック（新型コロナウイルスチェックリスト作成）
- エスコートキッズ等のイベントは実施しない
- エキップメントチェックは2 mの間隔を保ちチェック後は個々に入場し挨拶・円陣は行わない
- 試合前のチーム集合写真撮影は2mの間隔を保ち行うこと
- 試合前、試合後に両チーム、審判団との握手は実施しない
- 試合後の相手ベンチおよび本部への挨拶は行わない
- 得点時にハイタッチ、抱擁を行わない
- 怪我をした選手にむやみに接触しない（移動等関わった場合は速やかに消毒を行う）
- ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない
- 同じボトルを共有せず、口に含んだ水をピッチに吐かない
- 水・氷を溜めたクーラーボックスを共有しない
- タオル等、リネンを共有しない
- ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する
- ベンチではマスクを着用し、会話を控える
- 試合終了後ベンチの消毒を行う

(3) ゴミの廃棄方法

ゴミを収集する際は、マスクや手袋を必ず着用してビニール袋に入れて密閉して縛り、持ち帰り廃棄してください

3. 事後対応

競技会終了後3日以内に、各チームの責任者は参加者に連絡を取り、具合の悪い選手・役員いないか確認し、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合は速やかに感染対策責任者に報告する
<感染対策責任者>

CFA 河瀬 淳（専務理事）

主管 神山 史朗（1種委員会社会人連盟委員長）090-8740-5056